

# 地 域 再 生 計 画

## 1 地域再生計画名称

『あんしん・連携による因幡のまちづくり』

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

鳥取県、鳥取市

## 3 地域再生計画の区域

鳥取市及び鳥取県岩美郡岩美町の全域

## 4 地域再生計画の目標

当該地域は、鳥取県東部に位置し、北部は日本海に接し、南部は中国山地に面した豊かな自然あふれる地域である。当該地域には日本有数の観光地である「鳥取砂丘」を擁する「山陰海岸国立公園」をはじめ、「鳥取温泉」・「吉岡温泉」などの温泉地、さらに「わらべ館」・「因幡万葉歴史館」・「流しびなの館」・「さじアストロパーク」などの観光施設も多数有している。

一方、豊かな自然を背景として、鳥取港で水揚げされる「松葉かに」、福部町の「砂丘ラッキョウ」、「二十世紀梨」さらには産地指定を受けた各種野菜の栽培など農林水産業も盛んである。

折しも当該区域は、平成16年11月1日に9市町村が合併し、山陰初の20万都市として新しくスタートし、「夢があり誇りのもてる20万都市」を目指し、新市として一体感のあるまちづくりを進めている。

この中で、「広域交流観光の発展」、「新たな農林水産業の振興」などをビジョンの柱として掲げ、「安心・安全のまちづくりプロジェクト」、「交流・連携プロジェクト」及び「地場産業振興プロジェクト」などを重点プロジェクトとして位置付けている。

高齢化・過疎化の傾向は新市としても看過できない現象であり、特に旧鳥取市周辺の旧町村ではその傾向が著しい。このため、新市は、高齢化に伴い市民要望として関心が高くなっている高度医療機関へのアクセス強化や福祉サービスの向上を喫緊の課題としている。さらに、これら周辺地域の住民の多くは、基幹産業である農林水産業の働き手として重要な人的資源であり、基幹産業の維持・振興にはこれらの人々が健康で安心できる生活環境を提供することが必要である。そのためには、地域医療及び高度医療等福祉サービスの充実是不可欠な要素といえる。

併せて、農林水産業の維持・振興のためには、働き手への福祉サービス向上はもとより、物流の高速化も大きな要因の一つといえる。新鮮で大量の農作物等の運搬は、消費者への安全性及び安心度を高め、より一層の購買意欲をかき立てることが大いに期待される。

一方、多数の観光資源を有するものの、近年の観光客数の減少は地場産業及び地域住民の意欲減退を招き、地域の活力を損なう一因となっている。このため、これら観光資源をネットワーク化し、より魅力ある観光エリアを創成することにより、観光客の増加、滞在時間の延長等を誘導し、かつ人的交流及び物流の活発化へ繋げることで、地域の活性化に寄与することが期待される。

このように人的交流及び物流の活性化に寄与する基盤としての道路は、近年の異常気象による土砂崩落、冬期豪雪等で通行規制を余儀なくされるなど、地域住民の生活に支障が生じることがある。幹線道路及び生活道路は、すべての生活の生命線であるものの、自然災害を予防することは困難であるため、その代替道路の整備が期待されている。

時期を得て、中国横断自動車道姫路鳥取線の供用開始を20年代初頭にと要望する中、これを人的・物的交流の骨格とし、併せて各種施策を実施することで地域活性化に資する基盤の造成を図ることは重要な課題といえる。

### （目標1）医療施設へのアクセス強化

住民が不安に感じている医療体制整備並びに福祉の充実に関して、道路網の整備により、高度医療施設へのアクセスが容易になることや、福祉サービスの提供が容易に受けられるようになる。

岩美広域農道、市道美歎線（市立病院へ30分（片道）圏内のアクセス人口が1,050人（288世帯）増加する。）

市道南岸線（市立病院へ30分（片道）圏内のアクセス人口が1,546人（448世帯）増加する。）

### （目標2）緊急時の代替道路

自然災害（豪雨等の土砂崩れ、冬場の豪雪等）で幹線道路（国道9号線）（国道482号）が通行不能となった際の代替道路としての役割を果たす。

岩美広域農道、市道美歎線（国道9号の市町境の峠で冬季豪雪時事故で通行不能となることがあり、代替となる。）

市道南岸線（国道482号の鳥取市佐治町で豪雨により通行不能となる時があり、代替となる。）

### （目標3）観光振興

多数の観光拠点を結ぶネットワークとして広域的に道路網が整備されることにより、拠点間の移動時間の短縮を図ることが可能となり、「もう一箇所観光できる」という意識を派生させ、かつ滞在時間の延長等を誘導することができる。

岩美広域農道、市道美歎線（国道9号（岩美町内）から因幡万葉歴史館へのアクセス 約10分短縮）

市道南岸線（鳥取砂丘からさじアストロパークへのアクセス 約15分短縮）

### （目標4）農業生産の集出荷の改善

農業施設への集出荷の改善（距離短、大型化）並びに生産資材、堆肥の導入の改善。将来的には山陰自動車道や姫路鳥取線、鳥取豊岡宮津自動車道とアクセスし、流通の高速化への対応が可能となる。

岩美広域農道、市道美歎線（高住～野菜集出荷場 約10分短縮）

## 5. 目標を達成するために行う事業

### (5-1) 全体の概要

鳥取市東部区域（旧国府町、旧福部村）及び岩美町を結ぶ『岩美広域農道（昭和57年12月7日計画確定）』『市道美歎線（昭和57年8月31日認定）』を整備することにより、鳥取市中心部へのアクセスが良くなり、幹線の通行不能時の代替も期待される。また、『市道南岸線（昭和57年3月29日認定）』は集落内道路であり幅員狭小で安全性、速達性に乏しいため、整備により、異常時に幹線が通行不能の際の代替道路として果たす役割は大きく、人の交流の面から見ても安全な走行性が確保できる道路整備の意義は大である。

現状の高速道路網の遅れ、過疎化、高齢化による農林水産業の衰退、観光客の伸び悩み等の課題、さらには高齢化に伴う医療機関の整備充実、福祉サービスの向上等の諸課題を解決するためにも、広域的道路網の整備は不可欠であり、鳥取市全体と周辺市町村のネットワークが充実すれば、「あんしん・連携による因幡のまちづくり」に貢献できるものとする。

### (5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

道路整備交付金を活用する事業

#### 施設の種類（事業区域）、事業主体

- ・ 岩美広域農道（鳥取市、鳥取県岩美郡岩美町） 鳥取県
- ・ 市道（鳥取市） 鳥取県、鳥取市

#### 事業期間

- ・ 広域農道（H17年～H21年）
- ・ 市道（H17年～H21年）

#### 整備量及び事業費

- ・ 広域農道（L=6,075m）
- ・ 市道（L=3,120m）
- ・ 総事業費 4,376,000 千円

広域農道	3,062,000 千円	（うち交付金 1,531,000 千円）
市道	1,314,000 千円	（うち交付金 657,000 千円）

### (5-3) その他の事業

【道路関係】中国横断道姫路鳥取線の建設と連携して地域内連絡時間の短縮を図る。

【医療福祉関係】市立病院の増床、保健センター機能の整備・充実、救急医療体制の充実と併せ「あんしんできる生活環境」を提供。

【観光関係】各地に広がる観光商品の連携と地域受け皿組織の育成、各観光拠点における新商品開発との相乗効果で観光振興を図る。

【農業関係】岩美町大谷地区のほ場整備、農業機械の共同購入、二十世紀梨の生産強化・販売促進、福部砂丘地域における農道の整備と連携して物流の効率化、農業の振興を図る。

## 6. 計画期間

平成17年度～平成21年度

## 7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標について、各事業主体が共同で事業完了時に調査を行い状況を把握すると共に、4に掲げる目標数値と照らし合わせ達成状況の評価、改善すべき事項の検討を行うこととする。

## 8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし